

## 一 般 質 問

令和5年6月19日（月）

20番 日下部 勝義 議員

### 1. 市道の舗装補修について

現在、花川地区の舗装改修が進められておりますが、市内の未舗装道路の舗装予定について伺う。

### 2. 生振地区の違法堆積物について

生振地区の長年の課題となっている、いわゆるゴミ屋敷ともいえる、不法堆積物ですが、現在の対応状況を伺う。

市道にかかる部分についての対応についても伺う。

### 3. 移動式投票所について

今後の拡大、拡充について

### 4. オンデマンド交通について

今後の実証運行の内容と、本格運行に向けた市の考えを伺う。

### 5. 市の成長戦略について

政府の骨太方針2023の骨子案が示されました。まちづくりGX・グリーンインフラの取り組み推進・少子化対策・子ども施策の抜本強化などあるが、市としての成長戦略の柱をどう考えているか伺う。

### 6. 高齢者のフレイル予防について

人間、年をとると体力が弱くなり、外出の機会も減り手助けや介助が必要となってきます。

所信表明に「高齢者の外出を促す施策の検討」とありますが、フレイル予防と併せどのように進めるのか伺います。

## 1番 遠藤 典子 議員

### 1. 厚田区における「高齢者等浜益温泉 無料送迎バス」の試験運行の再開について

- ①過去1回実施の試験運行の評価について伺います。
- ②コロナにより中止になっていた、試験運行の再開めどについて伺います。

### 2. 厚田区・浜益区における歯科診療の再開について

診療再開に向け、尽力して頂いていると思いますが、その現状と今後の可能性について伺います。

### 3. 誰もが投票しやすい環境の整備について

障がい者・高齢者などが安心して投票できるように「投票支援カード」「コミュニケーションボード」の導入について伺います。

---

## 4番 蜂谷 高海 議員

### 1. 浜益区・厚田区の歯科診療再開について

両区とも、現在歯科医が不在の状態地域内での歯科診療が止まっています。

歯と口腔の健康については、生活習慣病との関連など全身の健康にとって重要な要素であることが、近年明らかになってきています。そのことから、健康寿命を延ばすためには歯科診療は非常に重要となります。

現在、浜益区・厚田区は歯科医院が無いことから、歯科医院にかかるために長距離を往復するか、診療自体をあきらめる市民も出てきています。

市街地で暮らす市民と、浜益区・厚田区に暮らす市民の健康に格差を生んではなりません。浜益区・厚田区の歯科診療を早急に再開することが必要ですが、市長の見解を伺います。

### 2. 浜益区・厚田区の公営住宅について

浜益区・厚田区において、仕事で転入するにあたり住居が不足している旨の声が高まっています。また、高齢世代が住宅維持の困難や冬季の除雪等の苦勞から、公営住宅に移り住むケースも出てきており、それにとどまらず浜益区においてはこの春、札幌市の道営住宅へ夫婦で転出するケースが2件立て続けに発生していることに衝撃を受けています。住宅問題は切実な地域課題になっています。

よって両区において移住者向けの住宅はもちろんのこと、様々な世代、家族構成、収入状況などに合う公的住宅の整備が急がれると考えますが、市長の見解を伺います。

### 3. 地域自治区の延長について

2005年に合併をして今年の10月で18年目を迎えます。この間、浜益村と厚田村は合併特例法における地域自治区「浜益区」「厚田区」を設置しております。この間、両区の人口減少に歯止めがかからず、地域の衰退が加速していることは明らかです。

今後両区において、市民が持続的に生活できる環境にするためには、一層の振興策が求められます。その中心的な役割を果たすのは両区の支所、地域自治区であると考えます。その中で、地域協議会は単なる諮問機関ではなく自ら建議できる機関として設置されていますが、今後の振興策を策定・実行していくためになくってはならない仕組みです。そのことから、合併後20年を経た後も地域自治区の設置の延長は必要不可欠であると考えますが、市長の見解を伺います。

### 4. 子ども医療費の窓口負担について

現在石狩市において子どもの病院窓口負担への助成は、通院が12歳年度末、入院が15歳年度末までとなっております。一方、全国1,741市区町村の状況を見てみますと、9割以上の市区町村で15歳年度末まで以上、うち約半数が18歳年度末まで広がっています。これは令和3年4月1日現在の厚生労働省の資料ですが、今後は18歳年度末まで制度の拡充が全国的に進んでいくことと予想されます。

市長の所信表明に「子どもの医療費に関する公費負担のあり方の検討」の文言があったことは、子育て世代の市民にとって希望となります。今後18歳年度末までがスタンダードになっていくことを考えると、石狩市は段階を踏むのではなく、通院・入院のどちらも18歳年度末まで拡充してはどうでしょうか。時代の要請に沿った、市長の大胆な決断を求めます。

### 5. 一次産業における燃油、肥料、飼料、資材費の高騰対策について

昨年から続く燃料費、肥料、飼料、資材費等の高騰によって、また国による水田活用交付金の見直しによって、農業・漁業などの一次産業を営む市民の経営が苦しい状況に置かれています。これは一般論ではなく、現場からの声です。

石狩の基幹産業である農業・漁業を、自治体として具体的に支援する政策が求められていると考えます。国の「新型コロナ対応地方創生臨時交付金」は農林水産業者への支援にも活用できる旨示されています。近隣自治体では当別町や恵庭市、千歳市が農業者への支援策を決定しています。石狩市においても国、道の支援事業だけにまかせるのではなく、基幹産業を持つ自治体として可能な範囲で農・漁業者への支援をするべきと考えますが、市長の見解を伺います。

1. 市長・市議選の結果、地域から届いた声をどのように受け止め、取り組んでいくべきか

- ① 今回の選挙の投票率の低さをどう考えるか。市民の行政や議会に対する関心が低いこと、公報を戸別配布しなかったこと、高齢者で投票所に行けない人が増えていること、若年層・ファミリー層の投票率の低さなど、低下の要因をどのように捉えて分析しているか伺う。また次に向けての課題とその取り組みの考えを伺う。
- ② 市長選の結果、有効投票数の約33%は加藤市長以外の候補者に投票した。市長を支持した有権者と、支持しなかった有権者は、それぞれ加藤市政の4年間をどのように評価していると捉えているか。また、投票に行かない半分以上の有権者の思いを今後どのように市政に反映させていくべきと考えるか伺う。
- ③ 地域住民からは、市役所職員の市内在住率の低さが、地域課題解決に対する市職員のモチベーションの低さや、防災体制の脆さにつながっていると問題視する声が多く聞かれた。また、花川北、南に在住する市民からは、住宅前の道路陥没やゆがみについていつまでたっても修繕されないという声を多く伺った。この二つの課題について、どのように取り組んでいくか伺う。
- ④ 単身の高齢者がここで住み続けたいという思いに応えるには、介護保険サービスだけでは十分ではないという声、ひとり介護者を支える支援が十分ではないという市民の声も多く伺った。どのように応えていくか伺う。
- ⑤ 市長選では洋上風力発電の推進について、その賛否が候補者で分かれた。市民の一定数が、市が進める洋上風力発電の推進について懸念を持っていると考えるが、市長はどのように捉えているか伺う。

2. 石狩湾新港地区について

- ① 現在、石狩湾新港地区で新たな事業の取り組みが進んでいるが、先日新聞報道された「地域バイオマス発電」と、軌道系交通として「都市型ロープウェイの導入調査」について、その事業概要と事業目的を伺う。
- ② 港湾域に建設されている洋上風力発電の進捗状況と、稼働開始について伺う。実施事業者の買収が報道されたが運営への影響は。漁業者との協調、固定資産税についてはどのように話し合われているか。大きな蓄電池も敷設されたが余剰電力の水素利用についてはどこまで話が進んでいるのか伺う。
- ③ 石狩湾沖は5月、一般海域での洋上風力発電の有望な区域に選定された。選定理由と、今後の協議の流れ、市民に対し説明会などを実施する考えはないか伺う。また、一般海域での浮体式洋上風力発電の実証試験を行うこととなった経緯と何を目的とするものなのか、地域住民の理解はどのように得たのかも含めて、進捗状況を伺う。
- ④ 現在、自然豊かで保全すべき生物の生息域にも再エネが進められている。市長が言う再エネと自然環境の共生とはどのような取り組みなのか伺う。

### 3. アフターコロナの市民生活について

- ① 5類感染症に移行となる前と比較して、市民のコロナ感染状況と生活への影響はどのように変化したか。市民生活全般と、学校・保育施設での状況を伺う
- ② 5類感染症に移行後、令和5年春開始接種の接種体制と対象者、接種状況について伺う。小児・乳幼児コロナワクチンの接種は現在どのような接種体制となっているか。小児ワクチンの初回接種と追加接種を受けた子どもの接種率と人数、乳幼児ワクチンの接種率と人数を伺う。また、9月より新たな接種体制がスタートすると伺っているが、どのような内容となるのか、現段階で分かっていることを伺う。次に、接種回数を重ねるごとに、ワクチン接種後に副反応が長引く、体調不良が続く、いわゆる「ワクチン後遺症」方も増えていると報道されているが、市はそのような状況にある方の相談や数をどのように把握しているか伺う。また、国の健康被害救済制度は、ワクチン接種と体調不良に因果関係を国が認めた場合補償されるものだが、その制度について問い合わせた方の数、実際に申請した方の人数と年齢、その概要について伺う。
- ③ コロナ禍に実施された北海道社会福祉協議会の生活福祉資金貸付の利用実績と、その返済状況について。返済猶予を希望された方のアフターフォローと、コロナ影響による生活相談の状況について伺う。

### 4. 緑苑台地区の宅地造成と生活環境について

緑苑台地区に事業者によって新たに造成されている西街区は、250戸の宅地分譲を予定しており、年度内にも工事完了したところから分譲を開始し、来年度中には、新たな街ができること伺った。市は、事業者との打ち合わせを通じて、西街区がどのような街となるイメージをもって都市計画の変更を検討しているのか。また、道路、上下水道、公園、緑地整備などは、どのように進む予定なのか伺う。また、新たな家族世帯が増えることによる小学校の増員の見込みと、地域からは、緑苑台中学校建設の声が未だに上がっているが、中学校建設についてのこれまでの経過と現状、今後どのように検討されるか伺う。